

「長崎水害緊急ダム事業(施設名:浦上ダム)の検証について(案)」
 に対する意見……………(学識経験者の意見聴取)

No.	頂いたご意見の概要
1	・既存施設を上手く利用した優れた計画である。
2	・地域の人々にとっては、貯水池湖面の親水性の効果が大きく、また、アオサギ、オオサギ等が営巣しているので、水質保全を含めた自然環境の確保に努力してほしい。
3	・現在、曝気循環しているが、それでもときどきアオコが発生している。水質に留意してほしい。
4	・長崎市内でもここにしかない種類の生物も生息しているので留意してほしい。
5	・全体として、環境的には自然があまり壊れないのでよいと思う。
6	・既存施設を利用するため、コスト面と環境面の両面から見ても妥当な案だと考える。
7	・代替案の放水路や遊水地は、家屋移転も多くなるため、コスト的にみて妥当な案とは言い難い。しかも、移転するという選択は地域住民の理解を得ることが非常に困難な案であろうと思われる。
8	・農業用水の観点からは、浦上川中流部及び下流部では、水田がないことから、ダム計画による影響はないと考えられる。
9	・資料を拝見させてもらったが、非常に分かりやすく特に疑問に思うこともなかった。妥当であると考えます。
10	・既浦上ダムの有効活用案が①堤体の嵩上げと②貯水池内掘削の2項目から構成されていることを鑑みれば、現在の浦上水源池の堆砂量について、記録が残っているのであれば、実績に基づいた堆砂量の検討もバックデータとして、整理しておく必要がある。すなわち、新規掘削量(約45万m ³)の費用(イニシャル・コスト)のみしか計上されていない。一方、堆砂量が多いのであれば、5年毎あるいは10年毎の堆砂除去費用(メンテナンス・コスト)も含めた上で7案の比較表を作成し、その上で議論すべきである。
11	・ダムの有効活用案の内容に基づけば、貯水池周辺の涵養林等への工事の影響は極めて小さく、現状の環境が改変されることはないものと判断される。
12	・治水安全度1/100の流量がダム越流部(洪水吐き)を流れた場合、ダム直下流に位置する浦上川本川との合流点(西浦上小学校前の河道部)で、如何なる水位となるのか(越流なしで安全に流下可能か?)、河床部を構成する岩盤の掘削・撤去等は必要ないか(固い岩盤で河床勾配が急変しており、大規模な跳水の発生が懸念される。)等が大いに気になる。
13	・長崎はどこも水がない。既設ダムに治水容量を付加することは、既存施設の有効利用として妥当であると判断する。
14	・長崎県は、地形的に考えても水源の確保はダムしかない。